プロジェクト R

地域経済活性化プロジェクトチーム

～留萌（まち）の再生をめざして～

☎42・1840

昨年4月に、留萌市役所に設置された「地域経済活性化プロジェクトチーム」は、庁内から横断的に選んだメンバーで構成されています。「留萌（まち）に元気を！」を合い言葉に、市民と「協働」し、9つの事業を実施しています。平成16年度は、対岸貿易交流事業を重点化するとともに、引き続き9つの事業を展開します。

平成16年度 9つの事業とその概要

①賑わい交流事業（交流人口の拡大と留萌ツーリズムの確立）

■体験留学生の受け入れ事業

留萌の自然を生かした体験、施設見学、研修（学習）や地元住民との交流事業を企画します。

■朝市の開催

地元で獲れた旬の食材提供方策の調査研究、漁協青年部事業の支援をし、朝市（産直市）を開催します。

②IT・情報化対応促進事業

■ネットDeるもいを売り込め事業

ネット販売事業の実験、可能性調査（企業化可能性調査）、特産品販売事業者、手づくりグループ等の参加拡大、企業化支援策の調査研究を行います。

■コミュニティFM局開設支援事業

FMもえる開局準備事務の支援、行政提供番組の研究を行います。

③るもい農業ベンチャー推進事業

米政策の研究、先例事例の調査研究、グリーンツーリズム確立に向けた研究を行います。

④融雪機「るもい」くん（仮称）製作研究事業

融雪機の製作の課題、技術、事業化の可能性を検討します。研究会活動の支援をします。

⑤地産地消・るもいの味再発見事業

地産地消・スローフードをテーマに地元食材の地元消費の拡大を図るため、地域住民に留萌の味を知ってもらう事を目的に創作料理、商品の見本市を開催します。今年度は、夜間およびラリー方式等の検討、シンボルマーク作成などの継続化に向けた事業への検討も行います。

⑥ファン200万人獲得事業 ーるもいブランドで殴り込みー

リンゲージ・アップフェスティバル事業への積極的参加により、札幌圏における地場産品の消費、販路拡大、物産進行組織づくりを目指します。

⑦誘致企業人材確保支援事業

札幌市等コールセンター立地自治体と共同し、企業説明会を開催、新規学卒者等の人材確保、Uターン等の推進を図ります。

⑧中心市街地活性化事業

トレーディングセンター建設事業構想の支援、空店舗活用等商業活性化の支援を行います。

●重点事業

⑨対岸貿易促進交流事業

港湾都市間のネットワーク、対岸貿易の促進、国際都市への成長、地場産業の育成を目標に段階的に施策を実施していきます。

■貿易アドバイザーの設置

サハリンおよび対岸貿易に参入しようと地元企業等を支援するため、適切な助言を行う専門家の紹介を行い、経費の一部助成により地元企業等の活動の活性化を図ります。

■ロシア客船寄港試験

小樽港等への入港が増加しているサハリンからの客船の留萌港試験寄港を行い、恒常的寄港の可能性を探ります。

■日本建築物の調査・研究

発展が続くサハリンの経済状況を反映して、サハリンにある日本時代の日本建築物の保存、修理が課題になることを想定し、調査研究、技術交流を行います。

■サハリンるもい展の企画

サハリンに留萌を売り込み、経済交流の活性化を図るためのサハリンるもい展（留萌の紹介、留萌港の整備計画とポートセールス、留萌と背後圏の産業等の紹介と見本展示、文化技術の紹介コーナー）の平成17年度開催に向け、規模、内容、企画策定を行います。

■サハリン・クルーズ実行委員会

サハリン州との市民レベルの交流促進と留萌港を拠点とした物流活動活性化、古丹浜埠頭の活用拡大策として平成17年度に客船をチャーターしサハリン・クルーズを実施するため、実行委員会をつくります。

平成15年度事業の取組み状況報告

★賑わい交流事業

■朝市の開催

平成15年度に企画を練り上げました。平成16年5月から9月まで、毎月1回、留萌産直市を開催しています。

留萌産直市

四季折々の旬の新鮮な魚介類の販売をしています。また、その場ですぐ食べられる炭焼きコーナー、活魚のつかみ捕り体験もできます。

★IT・情報化対応促進事業

■ネットDeるもいを売り込め事業

観光協会へコンテンツ作成、配送、現金受領等のシステム開発等の業務を委託しました。

■コミュニティFM局開設支援事業

平成15年6月に「南るもい地域コミュニティFM放送開局促進協会」を設立しました。太子祭り、神社祭り、ゴールデンビーチ、市立病院フェスティバル、るもいポートフェスタ、小平産業まつり、増毛秋アジまつり、成人式などで、ミニFM放送を行いました。平成16年1月から4月まで、スタジオを設置し、試験放送を行いました。

スタジオもえるでの放送

多くの市民の皆さん、団体の皆さん、商店の皆さんにラジオに出演してもらい、留萌のマチの様子、留萌の人の様子を伝えました。

★るもい農業ベンチャー推進事業

米政策変更と留萌農業について勉強会を行いました。北竜町の企業を視察しました。

★融雪機「るもい」くん（仮称）製作研究事業

留萌産融雪設備製作研究会を設立し、遠赤外線融雪槽概要説明会を行いました。遠赤外線融雪機の小型化、地下水活用融雪機について研究しました。また、深川市内の融雪設備設置箇所を視察しました。

★地産地消・るもいの味再発見事業

地産地消・るもいの味再発見フェスタ実行委員会を設立し、平成15年9月に料理講習会、11月にRumoi地産地消フェア2003を開催しました。

Rumoi地産地消フェア2003

留萌産商品の展示紹介・販売コーナー、試食や、留萌産食材を使った創作料理の試食会を行いました。

また、留萌の食と農を考える意見交換会にチームメンバー4名が参加しました。

★ファン200万人獲得事業 ーるもいブランドで殴り込みー

リンゲージ・アップフェスティバル2003実施説明会を行いました。9事業者が平成15年9月にリンゲージ・アップフェスティバル2003（札幌）に参加いたしました。

★対岸貿易促進交流事業

平成15年5月にロシア連邦港湾管理局が留萌港の視察に来た際、港湾利活用のPRをしました。

8月に奥尻クルース参加艦艇3艦を留萌市国際交流協会と連携して受け入れました。

日本海オロロンライントライアスロン大会の際、サハリン州スポーツ委員を招聘し、サハリンからのトライアスロン参加の可能性を協議しました。

サハリン経済視察

経済・技術・人的交流の視点から、農業、水産加工業、商業、建築業、自動車修理・販売業、製材業の7業種9箇所を視察しました。

サハリン経済視察の9事業所が参加しました。

平成16年2月、サハリン展inるもいを開催しました。サハリンを紹介するパネル展、8月の経済視察の報告会、基調講演（経済セミナー）、パネルディスカッション、市民交流としてロシア料理講習会を行いました。

サハリン展inるもい ロシア料理講習会

講師に在札ロシア総領事館副領事ノソフ氏夫人をむかえ、20名の市民が、ボルシチ、ピロシキ、ブリヌィ、キャベツサラダを作り、交流会を行いました。